

文部科学省後援

令和6年度 **第48回**
てのひら文庫賞

読書感想文

全国コンクール

募集要項



▲HPへアクセス

本コンクールの趣旨 読書力と表現力の高揚をめざして…

読むこと、書くことは、国語教育の大切な内容ですが、特に作文力を強化することは、現代の重要な課題として要請されています。
当研究所では、読書力の育成と子どもの書く力をも併せて高揚されることを念願し、この読書感想文コンクールを実施いたします。

締切
9月20日
必着

応募規定

1.応募資格

- 小学校児童
- 特別支援学校を含みます。
・海外日本人学校、補習授業校、私立在外教育施設を含みます。
- ※作品の個人応募は受け付けておりません。
必ず在籍校を通じて応募ください。

2.応募部門

- てのひら文庫部門
「てのひら文庫」(文溪堂発行)の学年配当指定図書のご感想文
※他社発行の同作品も含みます。
- 自由図書部門
「てのひら文庫部門」以外の児童向け図書の感想文
※「ひろあひ文庫」(文溪堂発行)は自由図書部門に含まれます。
- 児童1名に1点の応募とします。
※ただし、「てのひら文庫部門」「自由図書部門」それぞれに、1名1点ずつの応募はできます。

3.応募作品

- 日本語で書かれた作品に限ります。
- 他の類似のコンクール等に応募した作品は除きます。
- 指導のための添削・評価等が記入されたままの作品は除きます。

賞 ※参加賞の設定はございません

個人賞

文部科学大臣賞	3名	(両部門の最優秀) (低・中・高) 賞	状
石森延男賞	1名	……………賞状と色紙(額入り)	
最優秀賞	12名	{ てのひら文庫部門 (各学年 1名) 賞状とメダル・副賞 }	
優秀賞	12名	{ てのひら文庫部門 (各学年 1名) }	〃
優良賞	36名	{ てのひら文庫部門 (各学年 3名) }	賞状と副賞
佳作	120名	{ てのひら文庫部門 (各学年 10名) }	〃
奨励賞	240名	{ てのひら文庫部門 (各学年 20名) }	賞状

※「石森延男賞」は、小学校6年間を通して、多くの優れた感想文を書いた児童に贈られます。

学校賞 ※児童の入賞状況の優れた学校、読書指導に熱心な学校に贈られます。

最優秀校	1校	賞状と盾・副賞	「日本教育新聞社賞」
優秀校	3校	〃	最優秀校、優秀校に賞状と副賞
優良校	5校	〃	優良校に賞状が贈られます。

※奨励校の数は、当コンクールの審査基準に照らし合わせて決定いたします。

中央審査委員

委員長	広島大学名誉教授	田中宏幸
委員	児童文学作家	岩崎京子
	児童文学作家	澤本和子
	児童文学評論家	藤田のぼる
	児童文学教授	石井睦美
	児童文学教授	阿部藤子
	大正大学教授	稲井達也

(所属、役職名前は令和6年4月1日現在)

締切・あて先・入賞者発表

- 1.応募締切日 令和6年9月20日(金) 当日必着 **×13 17**
- 2.あて先 一般財団法人 総合初等教育研究所 全国コンクール係
〒501-6238 岐阜県羽島市江吉町江中7-1 電話(058)398-6633
- 3.入賞者の発表 令和6年12月9日(月) 日本教育新聞紙上(予定)

表彰の方法

方法 各受賞校にて表彰

※対象者の学校へ当研究所事務局が伺い、賞状・賞品をお届けいたします。

日 令和6年12月10日(火) から令和7年3月上旬の間

※事前に日程調整させていただきます。

対象者

- ・個人賞の文部科学大臣賞の受賞者
- ・学校賞の最優秀校の代表者

(予定)

※その他の入賞者・入賞校は、賞状・賞品の発送をもって表彰に代えさせていただきます。

主催 一般財団法人 総合初等教育研究所
<http://www.sokyoken.or.jp>

後援 文部科学省 協賛 株式会社文溪堂 日本教育新聞社

応募時の注意事項

- ◎感想文を応募していただくときには、特に次の①～⑤の事項についてご注意ください。
- ◎③で必要な「応募票」「応募申請用紙」は、右ページに掲載してあります。
- ※必要数を原寸大でコピーしてご利用ください。

審査基準

- 作品が十分読みこなされていて、感想に対して根拠があること。
- 文章が平明であり、自分のことばになっていること。
- 書かれた主旨が明確であり、しかもそれは学年相応のものであること。
- 文章は筋が通っていて、聞く人や読む人に対して説得力があること。
- 感想の観点が、その人の個性的なものであり、かつ、それはまた素直なものであること。

1 字数など

- ・400字詰め原稿用紙に縦書き、自筆とする。(コピー・ワープロは不可)
- ※1年は240字詰め原稿用紙も可

- 1年 …………… 400字～1200字以内 ●3・4年 …………… 1200字～1600字以内
- 2年 …………… 800字～1200字以内 ●5・6年 …………… 1600字～2000字以内

- ・題名、学校名、学年、名まえ及び、そのための空白は字数に含む。
- ・改行のための空白は字数に含む。
- ・句読点等は字数に含む。

2 原稿用紙の使い方

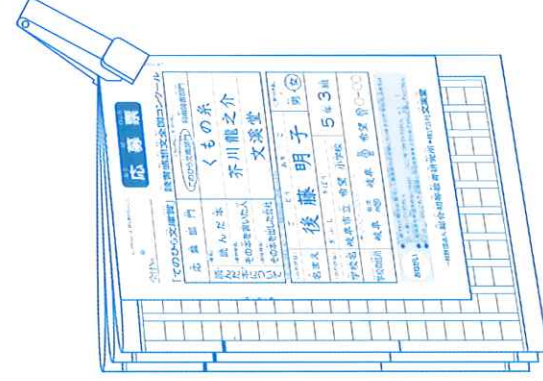
- ・第1行目に「題名」を書く。
- ・第2行目に「学校名」「学年」「名まえ」を書く。※長くなる場合は2行も可
- ・次の行から作文を書き始める。※文字は原稿用紙のマス目に書く。

3 応募票・応募申請用紙(右ページに掲載)

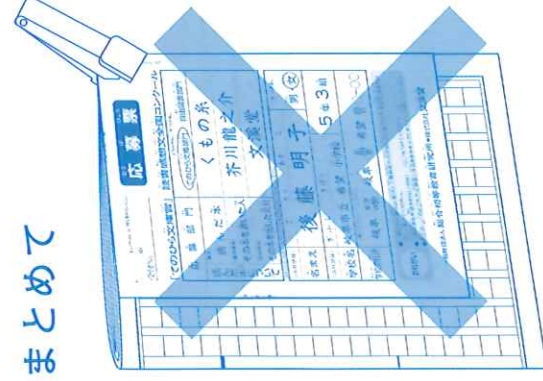
- ・「応募票」に必要事項を記入し、作品と一緒にとする。
- ・「応募申請用紙」に必要事項を記入し、作品と一緒に送る。

4 原稿用紙のとり方

- ・1枚1枚、原稿用紙の表面を外側にして二つに折る。
↓
- ・折った原稿用紙を順番に重ねる。
↓
- ・作品の一番上に「応募票」を添付する。
↓
- ・右肩をとじる。



原稿用紙をまとめて
とじない。



5 応募された作品について

- ・作品は返却いたしません。必要に応じてあらかじめコピーなどをおとりください。